

ナイアガラ

森野 水琴

彼はカナダのナイアガラの滝に近いホテルに居た。翌日のマラソンレースのスタートはアメリカ側なので入国手続きをしてきたところである。滝の落ちる轟音を聞きながらレースへの期待に高鳴る。花火大会で見た仕掛け花火のナイアガラとは桁違いの迫力である。

翌朝、スタート地点まで移動するバスで国境を越え、パスポートのチェックを受けるという珍しい経験をした。

アメリカ合衆国とカナダの国歌が演奏されてスタート。折からの雨に濡れながら走っていると、所々にボランティアの人たちが立っている。雨の中、ご苦労な事と思いながら、そういう人になりたいと思った。

ゆつたりと川は流れている。もうすぐ滝になって落ちるのも知らずに。知らないからこそ、ゆつたり流れていられるのである。滝の落ちる音を聞きながら感動のゴール。

帰国後、彼は東京マラソンのボランティアになった。雨の中、コースに立っていた。